

広域的な取組

ねずみ防除の効果を高めるためには、
広く面的な取組が有効

個々の取組はもとより、地域が一体となって、生ごみの管理などの環境改善と一斉駆除を合わせて実施すると一層効果的です。



POINT

取組を継続することで、ねずみの生息数が少ない状態を維持することができます。



区の実施

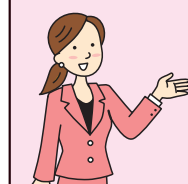
区では公共空間の駆除作業や出張講習会、個別相談会の開催のほか、町会等が行う広く面的なねずみ対策への補助事業を行っています。



問合せ先

中央区保健所生活衛生課環境衛生担当
☎03-3541-5938

ねずみ駆除を業者に頼む場合



公益社団法人
東京都ペストコントロール協会
☎03-3254-0014

※駆除は有料となります

ねずみ対策 のPOINT

ねずみの
住みにくい
環境をつくろう！



ねずみの生態と対策のPOINT

強い繁殖力

年5回～6回、1回につき
6～9匹の子を産む。

絶食に弱い

餌がないと2～3日程度で餓死する。1日に体重の1/3～1/4程度の餌を食べなければならない。

POINT

「毒えさや粘着シートによる駆除」は対症療法

餌となる「生ごみの管理など環境改善」が重要！！

ねずみによる被害

衛生被害

感染症

ダニ・ノミ

食中毒



設備被害

電気設備、火災の恐れ

ねずみは歯を削るために物をかじります。パソコンの配線、電話や電線のケーブルなどがかじられると、機械の故障や火災の原因になることがあります。

精神的被害

ねずみが家にいることで、不安・ストレスなどの精神的な苦痛を感じるおそれがあります。

風評被害

店舗やまちで見かけられることで、評判を落としたり、SNSなどでの拡散のおそれがあります。



餌を与えない

食材やごみは密閉できる容器で保管・管理する。

ねずみ対策では、エサを与えないことが重要です。生ごみ等は、ビニール袋に入れるだけではなく、ふた付きごみ箱などのしっかり密閉できる容器に入れて保管しましょう。

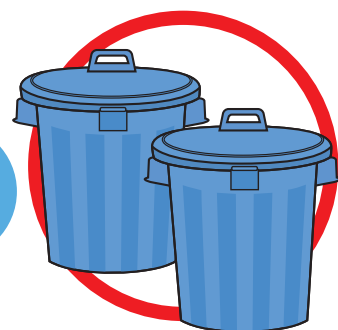
POINT

餌が無くなれば、増殖を防ぎ、個体数の自然減が期待できます。

Before

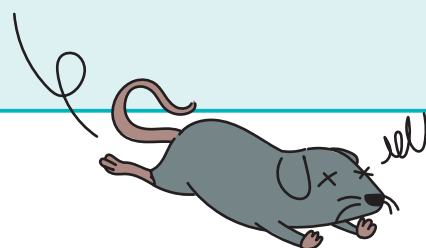


After



ごみの出し方の改善方法

- ✓ ごみ収集日の朝や、収集の直前にごみを出す。
- ✓ 夜間にごみを出す飲食店や事業所などは、夜行性のねずみに食べられないよう、ふた付きごみ箱や建物内回収を活用する。
- ✓ マンションのごみ置き場は扉を閉める。密閉空間でない場合にはふた付きごみ箱等を活用する。

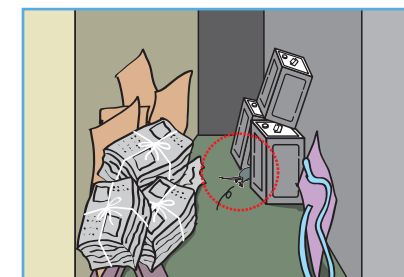
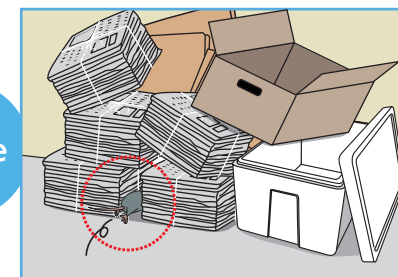


生息場所、隠れ場所を与えない

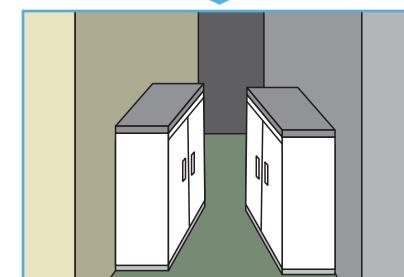
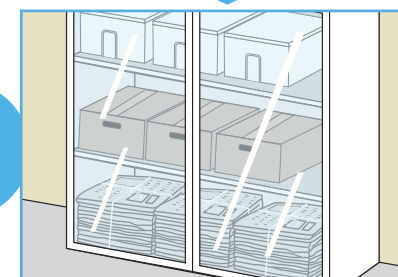
建物の周辺にある不要なものは廃棄するなど整理整頓をする。

特に段ボールや紙類はかじられて巣材にされてしまうおそれがあります。

Before



After



POINT

ねずみの隠れ場所が無くなれば、定着する危険性を減らすことができます。

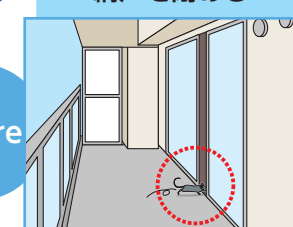
侵入させない

ねずみの侵入経路をふさぐ。建物内での移動を防ぐ。

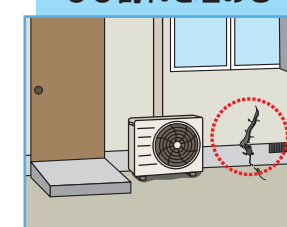
ねずみは、わずかな隙間（約2cm）を通り抜けることができます。種類によっては、壁やパイプの上り下りや電線ケーブルの伝い歩きができます。

網戸を閉める

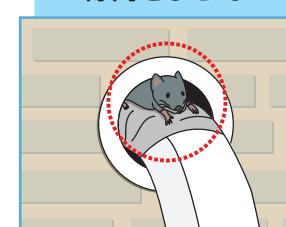
Before



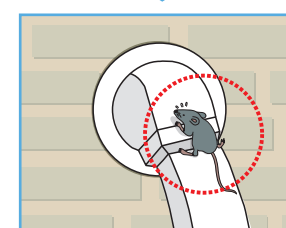
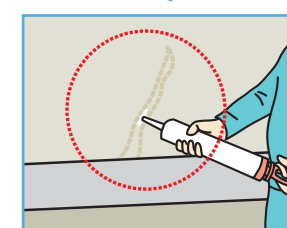
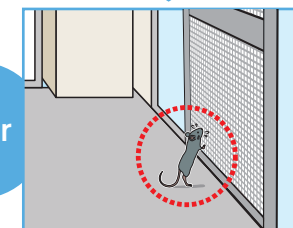
ひび割れを埋める



隙間をふさぐ



After



POINT

網戸を適切に使用することや、侵入されるおそれのある隙間をふさぎ、ねずみの侵入を防ぎましょう。

防そ修繕方法

- ✓ 通気口などに金網をかぶせる。
- ✓ 壁などの隙間や穴をパテやモルタルで埋める。小さな隙間には金属たわしを埋め込んでふさぐ。

